

水戸芸術館
専属楽団

Quartet AT Mito

カルテット AT アット 水戸

第3回演奏会

Violin
Yosuke Kawasaki

Viola
Shota Yanase

Violoncello
Rei Tsujimoto

Violin
Yuka Nishino

2025

7.19

土

14:00開演(13:30開場)
水戸芸術館コンサートホールATM

料金[全席指定] 一般¥4,500 U-25(25歳以下)¥1,500

Program

ハイドン:弦楽四重奏曲 第38番 変ホ長調 作品33の2<冗談>
Franz Joseph Haydn (1732-1809): String Quartet No. 38 in E-Flat Major, Op. 33-2, "The joke"

アウエルバツハ:弦楽四重奏曲 第3番<セテラ・デサント>
Lera Auerbach (1973-): String Quartet No. 3, "Cetera desunt"

ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第7番 ヘ長調 作品59の1<ラズモフスキー 第1番>
Ludwig van Beethoven (1770-1827): String Quartet No. 7 in F Major, Op. 59-1, "Razumovsky No.1"

チケット発売 | 4月26日(土)

●先行予約
財団運営維持会員:4月22日(火) ※電話・WEB予約のみ
水戸芸術館メンバーズ:4月23日(水) ※電話・WEB予約のみ
※会員先行予約がありますので、一般発売の時点でチケット販売が終了している場合があります。あらかじめご了承ください。

水戸芸術館 専属楽団 Quartet AT Mito The 3rd Concert

緻密なアンサンブルに裏打ちされた表現力豊かな演奏はもちろんのこと、メンバーによる親しみやすいトークもたいへん好評をいただいている水戸芸術館専属楽団の「カルテット AT 水戸」。今年は弦楽四重奏曲の王道と呼べるハイドンやベートーヴェンの傑作を取りそろえ、第3回演奏会に臨みます。演奏曲は、その特徴的な曲の終わり方に由来する〈冗談〉というニックネームで愛されているハイドンの弦楽四重奏曲第38番、そして、ハイドンやモーツァルトなど先達が作り上げた様式の殻を打ち破ろうと意欲的・挑戦的な作品が続いたベートーヴェンの創作中期の“総まとめ”と称される名作、弦楽四重奏曲第7番〈ラズモフスキー 第1番〉です。さらに、カルテット AT 水戸はこれまで2回の演奏会でも現代作曲家の作品を取り上げていますが、今回はラテン語による哲学的な8つのソネット（訳すと「だから私はあなたなしでは生きていけない…」「平和を望むなら戦いに備えよ」など）が添えられた、ロシアの現代作曲家レーラ・アウエルバツハによる弦楽四重奏曲第3番〈セテラ・デサント〉を披露します。ハイドン作品のもつ均整のとれた様式美、アウエルバツハ作品の秘める深淵な哲学世界、ベートーヴェン作品の放つ力強い推進力を、カルテット AT 水戸はどのような演奏で魅せてくれるのでしょうか。どうぞご期待ください！

PROFILE

カルテット AT 水戸

水戸芸術館第2代館長の小澤征爾が絶大な信頼を寄せ、水戸室内管弦楽団ならびにオタワ・ナショナル・アーツセンター管弦楽団のコンサートマスターを務める川崎洋介を中心に、国内外で活躍する西野ゆか、柳瀬省太、辻本玲が集い、水戸芸術館の専属楽団として2023年に活動開始。時代を越えて愛される弦楽四重奏の名作の魅力を広く伝えると同時に、まだ知られていない優れた作品を紹介することを活動の柱としている。4人のメンバーは年に1度、入念なりハーサルを通して音楽を磨き上げ、コンサートホールATMでの演奏会に臨む。さらに福祉施設等へのアウトリーチや子どもたちへの指導など、地域に根差した交流を通して様々な人々に音楽の愉しみを伝える活動を行う。

Quartet AT Mito



川崎洋介 [ヴァイオリン] Yosuke Kawasaki, Violin

6歳から父・川崎雅夫に手ほどきを受けヴァイオリンを始める。10歳でジュリアード音楽院予科に入学を認められ、D.ディレイ、H.カン、F.ガリミア、J.スミルノフに師事、1998年にジュリアード音楽院卒業。アラバマ州モンゴメリー交響楽団、大阪センチュリー交響楽団のコンサートマスターを歴任し、水戸室内管弦楽団、サイトウ・キネン・オーケストラのメンバーとしても活躍。小澤征爾、ピンカス・ズツカーマン、ヨーヨー・マ等とも共演し、カーネギーホール、サントリーホール、ロイヤル・コンサートホールなど世界有数のホールに出演している。「トリオ・インク」のメンバー、アフィニス夏の音楽祭の音楽監督、ブルガリアの室内楽音楽祭「オフ・ザ・ビートウン・パス」のアーティストティック・アドヴァイザーなど室内楽での活動も目覚ましい。現在カナダのオタワ・ナショナル・アーツ・センター管弦楽団のコンサートマスター、及びNHK交響楽団のゲスト・コンサートマスターを務める。

西野ゆか [ヴァイオリン] Yuka Nishino, Violin

桐朋学園大学音楽学部を経て、同大学研究科修了。大学在学中にカルテット・エクセルシオを結成する。第2回大阪国際室内楽コンクール弦楽四重奏部門第2位、第5回パオロ・ボルチアーニ国際弦楽四重奏コンクール（イタリア）において最高位、併せてサルバトーレ・シャリーノ特別賞など受賞。また第19回新日鐵音楽賞「フレッシュアーティスト賞」、第16回ホテルオークラ音楽賞を弦楽四重奏団として初めて受賞する。2010年10月より16年の6月までの6年間サントリーホールの『室内楽アカデミー』で、コーチング・ファカルティを務める。2017年4月より浦安音楽ホールのレジデンシャル・アーティスト、2023年5月には秋川キララホールのアンバサダーに就任。カルテット・エクセルシオ第1ヴァイオリン奏者。

柳瀬省太 [ヴィオラ] Shota Yanase, Viola

東京藝術大学音楽学部卒業後、桐朋学園ソリスト・ディプロマコースに学ぶ。第52回ジュネーヴ国際音楽コンクールディプロマ賞。第1回淡路島しづかホールヴィオラコンクール第1位。第1回松方ホール音楽賞、大阪文化祭賞受賞。2002年、文化庁芸術家在外派遣研修生としてイタリア・パドヴァに留学。マリオ・ブルネロ主宰のオーケストラ・ダルキ・イタリアーナで活動。04年ドイツに渡り、シュトゥットガルト州立歌劇場管弦楽団に入団。09年帰国、神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席ヴィオラ奏者を経て、2014年より読売日本交響楽団ソロ・ヴィオラ奏者。サイトウ・キネン・オーケストラのメンバー。松本、宮崎、北九州など音楽祭の参加、ベートーヴェンの弦楽四重奏曲全曲演奏、室内楽シリーズ、ストリングカルテットARCOのメンバーを務めるなど、室内楽奏者として活躍している。

辻本玲 [チェロ] Rei Tsujimoto, Violoncello

東京藝術大学音楽学部器楽科を首席で卒業。その後シベリウス・アカデミー、ベルン芸術大学に留学。第72回日本音楽コンクール第2位（「聴衆賞」受賞）。2009年ガスパー・カサド国際チェロ・コンクール第3位入賞（日本人最高位）。13年齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。2019年CD『オブリヴィオン』をリリース（「レコード芸術」誌特選盤）。サイトウ・キネン・オーケストラ、東京・春・音楽祭に参加するほか、チェロ四重奏団「カルテット・エクスプローチェ」など室内楽でも活動。NHK交響楽団首席チェロ奏者を務める。使用楽器はNPO法人イエロー・エンジェルより特別に貸与されている1730年製作のアントニオ・ストラディヴァリウス。

●公式サイト <https://www.rei-tsujimoto.com/>

チケットの取り扱い・お問い合わせ

- 水戸芸術館（営業時間9:30～18:00、月曜休館）
 - ◎エントランスホール内チケットカウンター
 - ◎チケット予約センター Tel.029-231-8000
 - ◎ウェブ予約 <https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>
- e+（イープラス） <https://eplus.jp>（PC・携帯）
- かわまた楽器店 Tel.029-226-0351
- ヤマハミュージックジャパン水戸店 Tel.029-244-6661（店頭販売のみ）



◆U-25チケットについて（枚数限定）

◎25歳以下の方が対象のお得なチケットです（未就学児入場不可）。◎ご購入いただきましたご本人様のみご利用いただけます。◎当日ご入場の際は、年齢を証明するものが必要となります。

- ◎公演の内容や出演者は、変更になる場合があります。
- ◎車椅子のお客様、盲導犬、介助犬同伴のお客様は、お座席へのスムーズなご案内のため、予約時にお知らせください。
- ◎未就学児のご入場はご遠慮ください。
- ◎公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換等はお受けできませんのでご了承ください。



●水戸芸術館への交通のご案内
JR常磐線水戸駅北口より、バスターミナル4～7番のりばから泉町1丁目下車、徒歩2分。